



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月9日

上場取引所 東

上場会社名 チムニー株式会社

コード番号 3178 URL <http://www.chimney.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 和泉 學

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経理部長 (氏名) 阿部 真琴

TEL 03-5839-2600

四半期報告書提出予定日 平成28年8月12日

配当支払開始予定日

平成28年9月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年1月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|--------------|--------|-----|-------|------|-------|------|------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 29年3月期第2四半期 | 23,165 | 0.9 | 1,536 | △2.6 | 1,565 | △3.6 | 764 | △13.2 |
| 27年12月期第2四半期 | 22,949 | 1.2 | 1,577 | 3.9 | 1,624 | 4.4 | 880 | 12.9 |

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 747百万円 (△17.6%) 27年12月期第2四半期 907百万円 (15.4%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|--------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年3月期第2四半期 | 40.20 | 39.71 |
| 27年12月期第2四半期 | 46.21 | 45.40 |

(参考) EBITDA 29年3月期第2四半期 2,520百万円(△4.3%) 27年12月期第2四半期 2,634百万円(1.0%)

*EBITDA=経常利益+支払利息+減価償却費+のれん償却額

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 29年3月期第2四半期 | 27,540 | 14,381 | 52.2 |
| 27年12月期 | 27,929 | 13,826 | 49.5 |

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 14,378百万円 27年12月期 13,823百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年12月期 | — | 11.50 | — | 11.50 | 23.00 |
| 29年3月期 | — | 11.50 | — | — | — |
| 29年3月期(予想) | — | — | — | 17.25 | 28.75 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年1月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 | |
|----|--------|---|-------|---|-------|---|-----------------|---|------------|--|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 | |
| 通期 | 62,900 | — | 4,700 | — | 4,700 | — | 2,450 | — | 128.79 | |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※1. 平成29年3月期は決算期変更により15ヶ月決算となっておりますので、対前期増減率については記載しておりません。

※2. 第4四半期(累計)の連結業績につきましては、平成28年2月10日に公表いたしましたとおり、売上高50,700百万円(前年同期比106.1%)、営業利益3,820百万円(前年同期比105.2%)、経常利益3,815百万円(前年同期比103.0%)、親会社株主に帰属する当期純利益2,000百万円(前年同期比101.6%)を見込んでおります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|----------|--------------|-----------|--------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 29年3月期2Q | 19,340,800 株 | 27年12月期 | 19,340,800 株 |
| ② 期末自己株式数 | 29年3月期2Q | 293,700 株 | 27年12月期 | 345,700 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 29年3月期2Q | 19,018,287 株 | 27年12月期2Q | 19,063,026 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 4 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 4 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 4 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 4 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 9 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 11 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 11 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 11 |
| (セグメント情報等) | 11 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用の改善は進んだものの、新興国経済の減速や英国の国民投票におけるEU離脱の選択等に伴う世界経済の下振れが懸念されるなど、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。景気の業況判断指数においては、景況感の分かれ目を示す50を継続的に下回っており、消費者の節約志向は根強く、実体経済としてはまだまだ厳しい状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループは価値あるものをお客様に提供できるよう漁港直送鮮魚の調達を拡大するなど六次産業化と地産地消の推進に積極的に取り組んでおります。

飲食事業におきましては、昨年に続き山陰山陽四国地方への出店を強化しております。3月に「龍馬 薫焼きさかなや道場 高知帯屋町店」を高知県にオープンしたことにより、1都1道2府42県での営業となりました。また、新業態「串焼・旬菜 炭火やきとり さくら」を開発し、3月に「土浦駅前店」を1号店としてオープン後、順調に出店を重ね、6月末で8店舗となりました。当連結会計年度内に30店舗展開を目指し、将来的には200店舗を見据えた旗艦ブランドに育てていく予定です。

コントラクト事業におきましては、お客様に継続利用いただいている事業形態の利点を活かした提案が、お客様のご要望の内容と親和性が高く、宴会獲得に結び付けました。

店舗数につきましては、当社におきまして直営店の新規出店が16店舗（13店舗の退店）、フランチャイズへの建売が5店舗（フランチャイズ店から直営店への切り替えが3店舗）あったことにより、当第2四半期連結会計期間末の飲食事業直営店の店舗数は327店舗（前期末326店舗、前年同期末311店舗）となりました。コントラクト店につきましては、退店が2店舗あったことにより、当第2四半期連結会計期間末のコントラクト店の店舗数は92店舗（前期末94店舗、前年同期末94店舗）となりました。また、フランチャイズ店は新規出店が1店舗（9店舗の退店）、直営店からの転換が5店舗（直営店への切り替えが3店舗）あったことにより、当第2四半期連結会計期間末のフランチャイズ店の店舗数は289店舗（前期末295店舗、前年同期末299店舗）となりました。さらに連結子会社におきましては、当第2四半期連結会計期間末における株式会社紅フーズコーポレーションの店舗は17店舗、めっちゃ魚が好き株式会社は14店舗であり、当第2四半期連結会計期間末の当社グループの店舗数は739店舗、当社の店舗数は708店舗となっております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は当社直営店の既存店売上高が対前年比95.7%と前年実績を下回ったものの新店の売上高が寄与したこと等により、前年同期に比べ0.9%増加の23,165百万円となりました。

一方、利益面につきましては、調達コスト及びメニュー粗利ミックスの見直し等による原価率低減により売上総利益は増加したものの、販売費及び一般管理費の増加分を吸収するには至らず、営業利益は1,536百万円（前年同期比2.6%減）、経常利益は1,565百万円（前年同期比3.6%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、前年同期と比較して特別利益が減少したこと、及び地方税法改正に伴い法人住民税均等割が増加したこと等から、764百万円（前年同期比13.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債および純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比べて388百万円減少し、27,540百万円となりました。減少の主な内訳は、有形固定資産が237百万円増加した一方で、売掛金が135百万円、のれんが240百万円、差入保証金が208百万円減少したこと等によります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比べて943百万円減少し、13,159百万円となりました。減少の主な内訳は、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）が2,020百万円増加した一方で、買掛金が2,334百万円、未払金が524百万円減少したこと等によります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比べて554百万円増加し、14,381百万円となりました。増加の主な内訳は、配当金の支払いが218百万円あった一方で、当第2四半期連結累計期間の業績により利益剰余金が764百万円増加したこと等によります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）は、営業活動により286百万円減少、投資活動により878百万円減少、財務活動により1,211百万円増加した結果、前連結会計年度末より46百万円増加し5,725百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間の営業活動の結果減少した資金は、286百万円（前年同四半期は535百万円の減少）となりました。主な内訳は、税金等調整前四半期純利益1,443百万円、減価償却費691百万円、のれん償却額240百万円による増加があった一方で、仕入債務が2,334百万円減少、未払金が613百万円減少、法人税等の支払額が729百万円あったこと等によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間の投資活動の結果減少した資金は、878百万円（前年同四半期は803百万円の減少）となりました。主な内訳は、固定資産の取得による支出が856百万円、新規出店に伴う差入保証金の差入による支出が108百万円あったこと等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間の財務活動の結果増加した資金は、1,211百万円（前年同四半期は1,680百万円の減少）となりました。主な内訳は、長期借入金の返済による支出が229百万円、配当金の支払額が220百万円、割賦債務の返済による支出が490百万円あった一方で、長期借入れによる収入が2,250百万円あったこと等によるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、当期より決算期を12月末より3月末へ変更するため、当期は平成29年3月までの15ヶ月決算に係る業績予想を公表しております。

なお、平成29年3月期の業績予想につきましては、現時点では平成28年5月6日に公表いたしました予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、第1四半期連結会計期間において、大田市場チムニー株式会社を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

(減価償却方法の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第2四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成27年12月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成28年6月30日) |
|-------------|--------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 5,679,081 | 5,725,545 |
| 売掛金 | 495,967 | 360,328 |
| F C債権 | 472,751 | 395,480 |
| 商品 | 401,867 | 409,595 |
| 貯蔵品 | 9,255 | 18,403 |
| その他 | 1,365,129 | 1,452,587 |
| 貸倒引当金 | △140,041 | △180,063 |
| 流動資産合計 | 8,284,011 | 8,181,877 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 4,841,311 | 5,057,198 |
| その他(純額) | 917,316 | 939,420 |
| 有形固定資産合計 | 5,758,627 | 5,996,618 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 6,636,719 | 6,396,700 |
| その他 | 41,752 | 48,425 |
| 無形固定資産合計 | 6,678,471 | 6,445,125 |
| 投資その他の資産 | | |
| 差入保証金 | 6,469,546 | 6,260,750 |
| その他 | 743,864 | 661,712 |
| 貸倒引当金 | △5,358 | △5,282 |
| 投資その他の資産合計 | 7,208,052 | 6,917,179 |
| 固定資産合計 | 19,645,152 | 19,358,924 |
| 資産合計 | 27,929,163 | 27,540,801 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成27年12月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成28年6月30日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 3,910,737 | 1,576,421 |
| F C債務 | 678,418 | 476,606 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | — | 459,984 |
| 未払法人税等 | 768,454 | 866,842 |
| 賞与引当金 | 84,198 | 67,571 |
| 役員賞与引当金 | 24,500 | 11,951 |
| 資産除去債務 | 130,261 | 36,251 |
| その他 | 4,263,953 | 4,259,644 |
| 流動負債合計 | 9,860,522 | 7,755,273 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | — | 1,560,024 |
| 退職給付に係る負債 | 146,182 | 152,661 |
| 資産除去債務 | 818,199 | 889,860 |
| その他 | 3,277,707 | 2,801,579 |
| 固定負債合計 | 4,242,090 | 5,404,125 |
| 負債合計 | 14,102,612 | 13,159,399 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 5,772,621 | 5,772,621 |
| 資本剰余金 | 2,648,548 | 2,564,724 |
| 利益剰余金 | 6,100,139 | 6,646,371 |
| 自己株式 | △730,251 | △620,427 |
| 株主資本合計 | 13,791,057 | 14,363,289 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 33,317 | 15,640 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △1,367 | △820 |
| その他の包括利益累計額合計 | 31,950 | 14,820 |
| 非支配株主持分 | 3,543 | 3,292 |
| 純資産合計 | 13,826,550 | 14,381,402 |
| 負債純資産合計 | 27,929,163 | 27,540,801 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日) |
|---------------------------------------|---|---|
| 売上高 | 22,949,567 | 23,165,558 |
| 売上原価 | 7,697,320 | 7,610,163 |
| 売上総利益 | 15,252,246 | 15,555,394 |
| 販売費及び一般管理費 | 13,675,148 | 14,019,044 |
| 営業利益 | 1,577,098 | 1,536,350 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 6,647 | 5,905 |
| 受取配当金 | 1,030 | 1,040 |
| 受取手数料 | 58,775 | 28,605 |
| 補助金収入 | 19,772 | — |
| その他 | 14,125 | 22,392 |
| 営業外収益合計 | 100,350 | 57,943 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 43,952 | 23,708 |
| その他 | 9,281 | 5,297 |
| 営業外費用合計 | 53,233 | 29,005 |
| 経常利益 | 1,624,215 | 1,565,287 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 6,602 | 11,000 |
| 収用補償金 | 88,460 | — |
| 特別利益合計 | 95,062 | 11,000 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 39,983 | 42,149 |
| 減損損失 | 95,841 | 77,396 |
| その他 | 6,317 | 13,705 |
| 特別損失合計 | 142,142 | 133,251 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,577,135 | 1,443,036 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 720,734 | 781,267 |
| 法人税等調整額 | △24,869 | △102,656 |
| 法人税等合計 | 695,865 | 678,611 |
| 四半期純利益 | 881,270 | 764,425 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | 294 | △250 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 880,975 | 764,675 |

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 881,270 | 764,425 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 18,999 | △17,676 |
| 退職給付に係る調整額 | 7,138 | 546 |
| その他の包括利益合計 | 26,138 | △17,129 |
| 四半期包括利益 | 907,408 | 747,295 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 907,114 | 747,546 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 294 | △250 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,577,135 | 1,443,036 |
| 減価償却費 | 726,500 | 691,578 |
| のれん償却額 | 240,019 | 240,019 |
| 減損損失 | 95,841 | 77,396 |
| 長期前払費用償却額 | 29,648 | 27,555 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | △11,005 | △16,626 |
| 役員賞与引当金の増減額(△は減少) | △49,730 | △12,549 |
| 退職給付に係る負債の増減額(△は減少) | 17,165 | 7,296 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | △25,105 | 39,946 |
| 受取利息及び受取配当金 | △7,677 | △6,945 |
| 支払利息 | 43,952 | 23,708 |
| 固定資産売却損益(△は益) | △6,602 | △11,000 |
| 固定資産除却損 | 39,983 | 42,149 |
| 収用補償金 | △88,460 | — |
| 補助金収入 | △19,772 | — |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 81,667 | 135,638 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | 21,175 | △16,875 |
| F C債権の増減額(△は増加) | 34,529 | 77,271 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △2,160,396 | △2,334,315 |
| F C債務の増減額(△は減少) | △166,828 | △201,812 |
| 未払金の増減額(△は減少) | △581,298 | △613,632 |
| その他 | 437,920 | 869,163 |
| 小計 | 228,662 | 461,003 |
| 利息及び配当金の受取額 | 7,677 | 6,945 |
| 収用補償金の受取額 | 88,460 | — |
| 補助金の受取額 | 19,772 | — |
| 利息の支払額 | △44,087 | △23,818 |
| 法人税等の支払額 | △831,997 | △729,338 |
| リース解約金の支払額 | △4,435 | △1,683 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △535,948 | △286,892 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 固定資産の取得による支出 | △673,613 | △856,573 |
| 固定資産の売却による収入 | 7,135 | 11,000 |
| 固定資産の除却による支出 | △14,569 | △50,974 |
| 差入保証金の差入による支出 | △172,533 | △108,290 |
| 差入保証金の回収による収入 | 79,331 | 136,869 |
| その他 | △29,080 | △10,577 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △803,330 | △878,547 |

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日) |
|----------------------|---|---|
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 長期借入れによる収入 | 500,000 | 2,250,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △657,903 | △229,992 |
| 自己株式の処分による収入 | 87,500 | 26,000 |
| 自己株式の取得による支出 | △260,808 | — |
| 配当金の支払額 | △284,848 | △220,189 |
| 割賦債務の返済による支出 | △593,167 | △490,194 |
| リース債務の返済による支出 | △134,659 | △123,719 |
| その他 | △336,375 | — |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △1,680,261 | 1,211,904 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △3,019,539 | 46,464 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 8,358,710 | 5,679,081 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 5,339,171 | 5,725,545 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、居酒屋を中心とした飲食事業の他にセグメントとして、コントラクト事業とその他がありますが、飲食事業の割合が高く、開示情報としての重要性が乏しいと考えられることから、セグメント情報の記載を省略しております。